

吉田川流域地区

【事業地区の概要】

【全体実施設計】

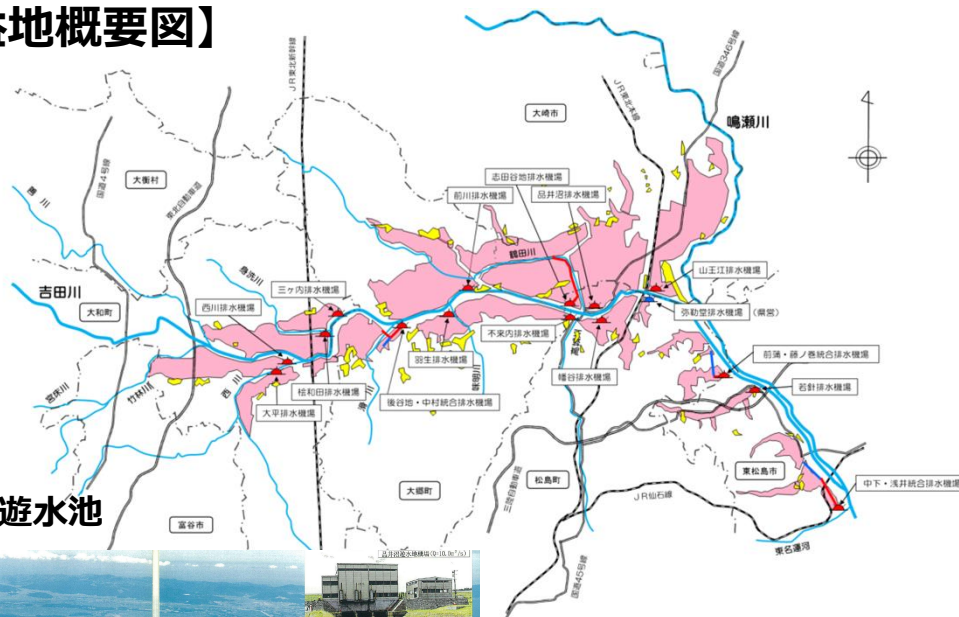
- 宮城県中央部に位置する受益面積4,436haの水田地帯
- 関係市町は、東松島市及び大崎市、松島町、大和町、大郷町の2市3町

【事業対象施設】

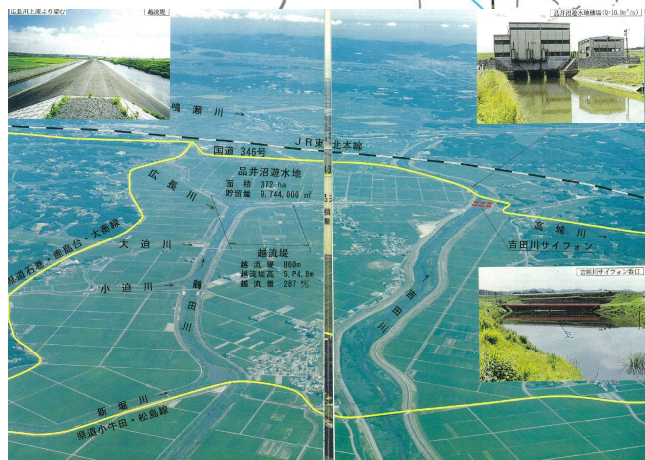
- 排水機場15か所（改修）、排水路（新設）0.5km、排水路（改修）3.8km、排水管理施設1式



【受益地概要図】



■ 品井沼遊水池



■ 大郷町付近の浸水状況



地区の課題

- ①排水能力不足
- ②排水施設の浸水被害
- ③地区の湛水被害

■ 山王江排水機場



事業構想

流域治水への取り組みと併せて、排水施設の能力向上、再編整備を行い、農地の湛水被害の解消と維持管理軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

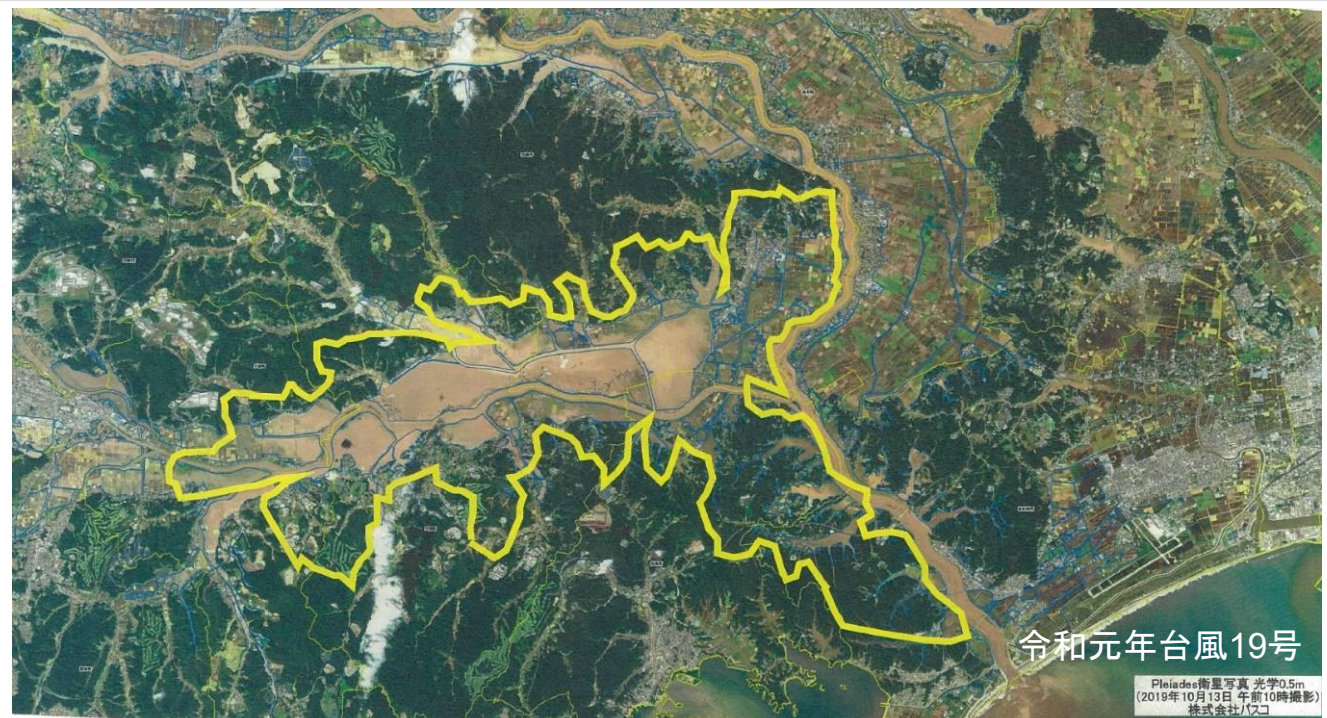
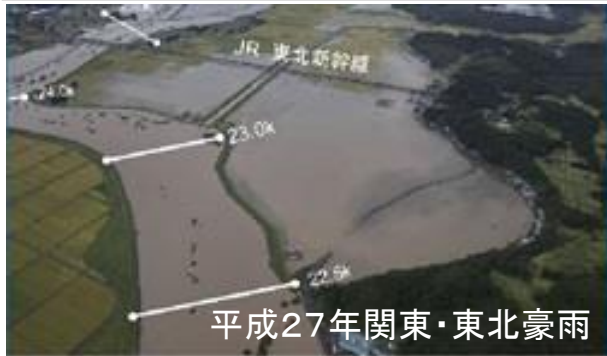
対策と効果

排水機場12箇所、排水路5条の改修等、排水機場3箇所の統合等
→農地の湛水被害解消及び維持管理軽減

吉田川流域地区

【最近の洪水被害の状況】

- 直近でも、平成27年、令和元年、令和4年と洪水の被害が続いており、地元は一刻も早い被害解消を切望。
- 令和5年に鳴瀬川水系吉田川等（計26河川）及び高城川水系高城川（計10河川）が、東北初となる特定都市河川に指定。
- 令和6年に「吉田川・高城川 命と生業を守る流域治水推進計画」が策定され、計画に吉田川流域では国内初の特定都市河川流域を対象とした国営総合農地防災事業が位置付けられている。



吉田川流域地区

【事業により目指すもの】

- **湛水被害解消**。1/30確率降雨時に、30cm以上の田面水深を24時間以内に低下。（宅地湛水被害も軽減）
- 遊水地指定範囲の農地においても、3日以内排水を目指す。
- 本地区の営農計画は、水稻を中心に、小麦、大豆のほか、ねぎ等の野菜、飼料作物等を組み合わせた農業経営を目指す。
- **流域治水対策の全国モデル**として、関係機関との緊密な連携の在り方、先進的な取り組みを実現。

【事業構想】

- 現在、個別に運用している各排水機場を、排水能力をアップさせつつ、流域全体の効率的な排水を可能とする、排水機場群としての排水方法を導入（**排水機場群の一元管理**）

- 課題解消、かつ管理負担軽減に向けた排水系統の再編整理

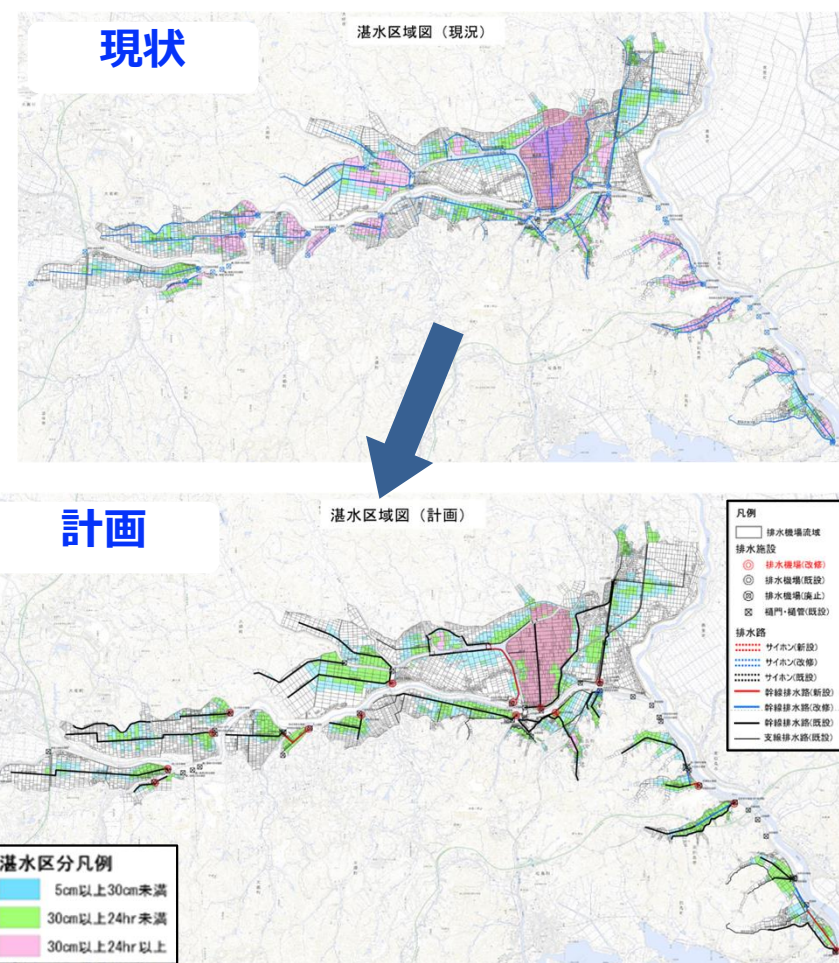
【ハード】

- ・ポンプ設備の能力向上。一体的に改修
- ・排水系統や地形等を考慮のうえ、隣接機場の統廃合（管理の集中・簡素化、負担の軽減）
- ・一元的に管理する中央管理施設及び排水システムを設置

【ソフト】

- ・排水機場群としての統合管理の運転操作要領（ルール）を整える（効果的な内水排除とともに、**統合管理だからこそその治水安全度を向上させる運用**）
- ・管理体制について、関係市町及び土地改良区と調整

- 排水管理上の各種データは、流域の関係機関と共有
- 「先進的な取り組み」となるよう、関係機関と協議し、進めていく⇒**吉田川の流域治水**



吉田川流域地区

流域治水の取り組み（新たな国営事業のイメージ）

- ① 気象データや河川情報等（河川管理者から提供）も活用した排水機場群の効果的な運用（統合管理）
- ② 事前排水による排水路・調整池への雨水貯留容量の確保
- ③ 国土交通省が計画している遊水地との事業連携の検討
- ④ 各機場の内外水位情報やカメラ映像を河川管理者・市町村と共有し、水防活動・避難指示等へ活用
- ⑤ 田んぼダムの取組による雨水の貯留 等

- 農地の湛水被害を解消
- 流域一体となって洪水被害を軽減
- 流域治水対策の全国モデル

